

2026.1.6 社会学 (田中重人)

## 第 10 講 「消費社会」

1. 前回課題について
2. 近代社会における消費
3. 期末試験と今後の予定

## 【前回課題について】

そこでは、次から次へと商品が送りだされる  
ことを前提に、個々の商品はたがいの差  
異を価値の内容とする記号へと再編される。

その記号を用いた集団的なコミュニケーションとして 20 世紀半ばには消費がはてし  
なくおこなわれている

教科書 p. 192

20世紀半ばには消費が■■としてはてしなくおこなわれている



たがいの差異を価値の内容とする記号を用いた集団的なコミュニケーション

# 【誇示的消費】

## Conspicuous consumption

有閑紳士の名譽のための余暇が誇示的閑暇である。それは有閑紳士本人によって行われるだけではなく、彼の家族や召使いたちが身につけるものや振る舞いを通しても実行される。

丹野清人「誇示的消費：ヴェブレン」  
日本社会学会『社会学事典』(丸善、2010) pp. 74-75

## 【分業と競争】

各領域での競争が、経済を拡大させる  
現在だけではなく、過去とも競争

- ・ **スポーツ** →順位、記録
- ・ **芸術** →新規性（美）
- ・ **科学** →新規性（妥当性、有用性）
- ・ **産業** →資本の拡大再生産（教科書 p. 190）
- ・ **消費** →消費社会（教科書 pp. 192, 198）

# 【近代化の帰結】

ロストウ (Rostow) の経済成長段階説

- ・ 伝統社会
- ・ 離陸のための先行条件期
- ・ 離陸期
- ・ 成熟への前身期
- ・ 高度大衆消費時代

教科書 p. 106

# 高度大衆消費時代

大衆的な規模で耐久消費財とサービスが普及する時期

ブリタニカ国際大百科事典（電子版）

限界効用の相対的遞減が起こり始め、もはや生活改善努力に向かうエネルギーは失われる

『新社会学事典』 有斐閣、1993 年、p. 440

# 消費社会

コミュニケーションを目的とした消費が繰り返される資本主義的システムが稼働している社会 (教科書 p. 198)

教科書 p. 198

→ 財そのものではなく、

**差異 (の認識) から得られる効用が重要**

## 【期末試験】

次回 (1/13) 授業時間に実施

教室でのみ受験可

A4 の手書きメモ 1 枚 (両面) のみ持込可  
(回収するので氏名を書いておくこと)

範囲は授業最初から今日の内容まで

次々回 (1/20) に返却・講評